



#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山城公園は多くの方が訪れる都市公園であり、来園者の利便性の向上や安全性の確保等に努める必要がある一方で、和歌山城は国史跡に指定されており、大幅な現状変更や景観の変更は原則として認められないため、事業にあたっては文化財保護との調和を図りながら慎重に進める必要があると考えられるため、現状維持とした。
見直し・改善内容	和歌山城は貴重な文化財であるが、単なる保存にとどまらず、多様化する市民ニーズに応えるためにもできるだけ有効に活用することを念頭に、事業を進めたいと考えている。